

緊急通報システム「HELP」

Help system for Emergency Life saving and Public safety

運転中等の**急病**や**事故**で**生命の危機**が
発生した時に**自分の場所を通報**します



HELPスイッチ



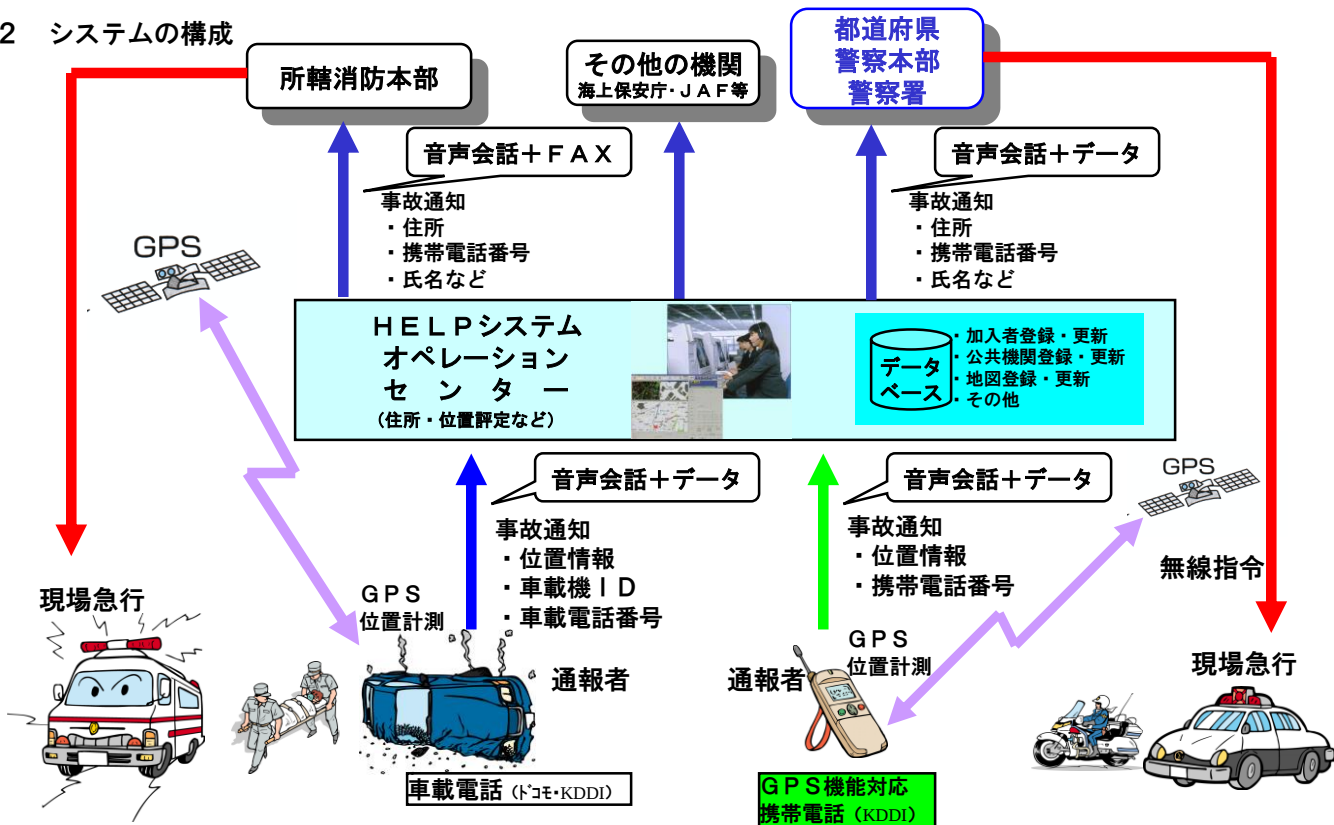
HELP用車載電話

1 HELPとは

運転中に事故やトラブルが発生した際の緊急通報は、発生場所や通報手段により、その迅速性や正確性等が大きく左右されてきました。

HELPシステムは、運転中の事故、車両トラブル、急病等の緊急事態発生時に迅速かつ正確に救援機関へ通報を行うとともに、車載装置の持つ正確な位置表示機能等により、緊急車両の迅速な救援活動を可能にすることを目的としたシステムです。

2 システムの構成



3 運用開始

- ① 平成14年4月1日（通信指令室のシステム改修に伴い佐賀県でも運用を開始）
- ② 平成14年6月7日（個人携帯電話契約での運用を開始「急病・けが、ストーカー等の場合」）

4 通報処理の流れ

- ① HELPセンターへ車両・携帯の位置、登録番号データ等を送信します。
- ② 会話にて負傷状況、人数等を説明します。
- ③ HELPセンターが事故・救急を確認します。
- ④ 警察、消防へ位置・事故状況を説明。必要事項を伝送し、救助を依頼します。
その後 通話を転送し警察、消防、海上保安庁等が直接通報者と連絡をとります。

5 加入者のメリット

- ① 公衆電話や非常電話を探す手間が不要になります。
- ② 通報者の位置を正確に把握できますので、現場へ迅速に到着でき待ち時間が短縮されます。
- ③ 手動通報（車載・携帯）や衝撃感知センサー等による自動通報により、車両の乗員が重傷意識不明に陥った場合でも通報が可能となります。（車載電話）
- ④ 地理に不慣れな場合でも車両・携帯の位置が正確に発信されます。